特集 多久聖廟創建300年記念

人に夢を！多久に元気を！夢乃聖夏トークショー

プロフィール●佐賀県多久市出身。出身校は多久市立中央中学校。宝塚音楽学校へ22.6倍の難関を突破して入学後、厳しい稽古を重ね、2001年『ベルサイユのばら』で初舞台。2006年『ベルサイユのばら』ーフェルゼンとマリーアントワネット編ー新人公演では、アンドレ役を熱演。2007年『エル・アルコンー鷹ー』で新人公演初主演。2008年4月宝塚バウホール公演『アンナ・カレーニナ』に初主演した将来も有望な若手タカラジェンヌ。

はせずにチャレンジしたので、まさか合格するとは思っていませんでした。合格番号を見た時は、証拠写真を撮ったり、10円を握り締め公衆電話に走ったり…。でも、高校入学も3日後と迫った日でしたが、私の人生を大きく変えた瞬間であり、夢が叶った瞬間でした。

鍛錬を積み重ね必死に努力

―東の東大、西の宝塚と言われる狭き門に合格され、音楽学校では、どんなことを学んだのですか？

まず、全国から集まった45人は、宝塚音楽学校に2年間通います。朝9時から夕方5時頃まで、声楽、ダンス、バレエ、日舞を始め、舞台に関することを色々と勉強します。その授業が大変で、大変で…。基礎ができていない私は、特にバレエの授業について行くのが大変でした。上手に踊れたり、歌えたり、私よりもっと強く夢を持っている人達が同期だったので、一つひとつ鍛錬を積み重ね、誰にも負けないくらいの夢を持ち、2年間必死に頑張りました。

興味のあるものが夢 その追求が夢を追うこと

―ダンスや歌など早くから稽古したらよかったと思いましたか？

今、思うとありますね。小さい頃からいろんなものを見て、聞いて、経験すると大人になって役立つことが多々あるとすごく痛感します。でも、私自身を考えると、宝塚に入るためというプレッシャーを感じず、伸び伸び育てられたこともよかったのかなぁと思います。オールマイティに多くを見て感じて、色んな経験をすることが、よりよい未来につながると思います。また、学生の頃は、何がやりたいのか、夢への戸惑いもあるでしょう。でも、興味のあるもの、それが夢なんですね。それを追求していくことが、夢を追うことだと思います。

心を磨き、精神力や忍耐力など 掃除一つで学んだことがたくさん

―歌やダンスなどレッスン前にもやることがあるのですよね？

宝塚といえばみなさんご存知のように、厳しい学校という印象をお持ちかと思いますが、大切なこととして毎朝の掃除があります。音楽学校に入ったら、授業の前7時半から1時間、自分の担当の場所を掃除します。例えば、窓の桟のような細かい所は筆や綿棒などできれいにした後、仕上げにガムテープでほこり一つないよう入念に磨きます。

そして、昼、放課後と一日3回点検をし、みんなが気持ちよく稽古できるようにします。小さい部分まできれいに掃除するという教育で、自分の心を磨くということも学びました。また、雪が降るような真冬でも水で洗ったタオルできれいに掃除し、精神力や忍耐力など、掃除一つで学ぶことがたくさんありました。

―年末の大掃除だけじゃ駄目なんですよね。掃除で美人になるとも言われますしね…。

そうですね。自分の部屋も、稽古場も、毎日少しずつ、掃除することで、気持ちよく心も磨かれて、清々しい一日を送れるのだと学びました。真剣に、やり方さえ分かれば掃除もすごく楽しいものですよ。

親元で勉強できる間はとても幸せな時

―早くに親元を離れ、苦労も多かったでしょう？

家族やお友達と離れた淋しさはありましたが、その分、色んなことを学べたと思います。早くに、自立して生きていくことを経験した中で、多久の身近な人を思い出すと、頑張れる支えになっていることを、強く強く感じました。だから、みなさんも親元で学生として勉強している間は、とても幸せなんだという感謝の気持ちを忘れずに、成長してほしいと思います。

次のページに続きます。